

学会だより

会費の件 5月号にあるように、会費が昭和46年度から特別会員5,000円、通常会員1,800円になります。お支払いの方には申し訳ございませんが、追加払いをお願いいたします。振替用紙をいれましたが、新会費を払った方は御容赦下さい。銀行振込みは、三菱銀行三鷹支店普通預金口座日本天文学会宛をお願いいたします。45年度の未納の方は、お早くお納めください。滞納者は発送の一時停止を考えております。

会誌値上げ 天文月報の販価を、送料込み1部175円にいたします。バックナンバー価格も175円にいたします。7月より。

欠号は次の通り。1巻(全号)、2(1-4, 10)、3(1-7)、11(10-12)、13(1)、14(全)、15(8以外全)、17(1, 2)、20(9, 10)、21(1, 5)、36(4-12)、37(1-7)、38(全)、39(全)、40(1, 8, 9, 10)、51(1)、52(1)、63(4)在庫僅少の号もあります。欧文研究報告の値上げは来年になる見込みです。

住所変更について 月報は、発行の1ヶ月前に宛名を印刷した封筒を印刷所に渡しております。したがって住所変更通知もその程度早くしていただかないと、対応ができません。住所は、郵便番号も含めて、正確に、読める字で書いて下さい。通知されたところがきで発送した郵便物がもどってくることもかなりあります。

月報の発行日と未着の処理 月報は7月号ならば6月20日発行となっておりますが、現在おくれ気味で、7月上旬位に発行されています。未着の知らせは、実際の発行の1月後から2月後位の間にお願いします。早いとこれから着くかもしれませんが、何ヶ月も経ってから未着といわれてもお送りいたしかねます。

質問について 学会の事務所には質問を処理できる職員がおりません。天文学的な質問は、各地の天文台(東京天文台も含めて)へお願いします。事務的質問はもちろん学会宛お願いします。また質問には、かならず返信料をおつけください。

大塚奨学会金希望者募集

昭和46年度の大塚奨学金を希望される方は9月末日までに下記事項記載の上“三鷹市大沢東京天文台構内日本天文学会理事長”宛お申し込み下さい。

(1) 氏名、生年月日、年令、性別 (2) 現住所、(3) 学歴、(4) 職業 (5) 研究題目 (6) 内地留学をしたいと思う機関、(7) 留学を希望する期間と日程、(9) 奨学金としての希望額 (9) これまでの主な研究歴。なお、詳細は大塚奨学金内規(会員名簿53ページ)を御参照下さい。

秋季年会の予定

秋季年会は10月26日(火)―29日(金)の4日間、豊橋市民文化会館にて行なわれる予定です。

新定款案に対する修正案の締切について

先月号で理事長よりお願いした新定款案に対する修正案の締切は7月末です。日数が限られていますので修正案は必ずしも字句の推敲を充分に行ったものである必要はなく、その内容が修正のポイントを明示したものであれば充分です。学会改革をスムーズに行うためのワンストップですので会員の皆様の御協力をお願いします。

庶務理事 高瀬文志郎・牧田 貢

〈投 稿 欄〉

学会の改革問題に思う

春の総会に出席して、日本天文学会は今、極めて重大な転期にさしかかっているのではないかと、という印象を深くしました。

3年前に当時の理事長の諮問を受けて発足した運営検討委員会が最終答申を提出してから、ここに3度目の総会を迎えても、その取扱いに明確な答を出し得ず、総会は昨年春に続いて2回目の申し合せを採択しました。その結果として、理事会がその責任において、新たに改革案を作成することになりました。私は、理事会が自信に満ちた改革案を早急に公表するように望みます。

総会に提出するに先立って、その改革案は当然、会員へのアンケートという洗礼を受けるでありましょう。そのアンケートにおいては、特別会員の圧倒的な賛意を得、かつ反対の数またはその割合が、運営検討委員会の改革案に反対した数またはその割合より――いかにそれが少なかったにもかかわらず、極めて深刻な影響を与えてきたことか!――さらに少ない改革案でなければなりません。

その案は、いかような内容を含んでいても、通常会員からもおそらく極めて多数の賛成が得られましょう。万一にも通常会員からの賛成が反対を下廻るといふ結果が起きた場合、いかに対処すべきか、――いやそのような不幸なことを、今から考える必要は認めたくありません。

(運営検討委員会が過去2回行なったアンケートにおいて、多くの支持を得たのは、案そのものへの賛意よりは、むしろ運営検討委員会に対する信頼度の方が強かったのではあるまいか、私は最近そう推測するようになりました)。

1971.5.22... 木村精二